

『愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 7 巻』（改訂第 2 版第 3・4 刷）
訂正とお詫び

掲載記事中、以下の記述に誤りがございました。ここに訂正させていただくとともに読者の皆様および関係者の方々に深くお詫び申し上げます。

株式会社 EDUWARD Press
2024 年 6 月 11 日作成

頁	記事タイトル	該当箇所	誤	正
75	【動物内科看護学】第 4 章 5 「排泄行動のアセスメントと排泄物の観察」	右段下から 6 行目	・便の水分量は、小腸および大腸にて水分が吸収されるため、最終的に約 2～3%となる。便の観察項目としては、硬さ、色、量、臭気、回数、異物の有無などがある（表 1-4-1）。	・便の観察項目としては、硬さ、色、量、臭気、回数、異物の有無などがある（表 1-4-1）。便の固さや量は水分含量の変動によって変わり、これらは軟便や下痢、便秘と関連する。